

2 組合員のメンバーシップ強化と「地域の活性化」への貢献

1. 組合員の加入促進

(1) 正組合員の加入促進

- 青年後継者や女性農業者の正組合員加入を促進し、一戸複数正組合員の拡大をはかります。
- 世代交代へのサポートを通じて、次世代の組合員との新たな関係を築きます。

【JA・地域農業の理解促進の活用】



(2) 准組合員の加入促進

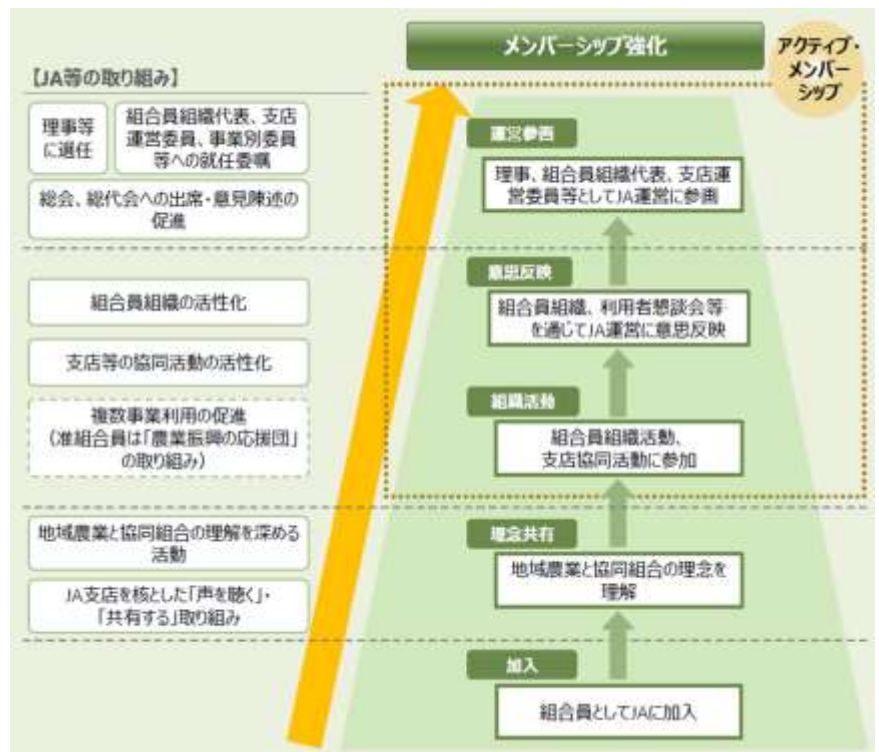
- JAの事業利用者・活動参加者への准組合員加入を促進します。
- 加入にあたっては、JAの事業や活動、地域農業についての理解促進をはかります。

2. 組合員のメンバーシップ強化

(1) 事業・活動を通じたメンバーシップ強化

- 「事業の複合利用」、くらしの活動等への「複数・2段階参加」の促進に取り組みます。
- そのため、ファーマーズ・マーケットを基点としたポイント制度の導入等について検討します。
- JAまつりなど不特定多数参加型の活動やこども・女性・シニア世代を重点対象としたくらしの活動に継続して取り組みます。

【正・准組合員のメンバーシップ強化のイメージ】



(2) 組織活動を通じたメンバーシップ強化

① 青年組織の拡充・活性化

- 青年部への加入を促進し、組織活動の活性化に取り組みます。

② 女性組織の拡充・活性化

- 11,007人(いい女)を目標に女性組織会員拡大と活動の活性化に取り組みます。

③ 多様な組合員組織の育成・活性化

- 利用者組織の活性化、男性大学等への参加者のグループ化など組合員が集う「場」づくりを進めます。

(3) 支所（支店）協同活動を通じたメンバーシップ強化

- 支所協同活動を全JAの全支所で展開します。
- 支所ふれあい委員会を設置し、組合員の参加・参画のもと、支所行動計画を策定します。

【組合員との対話】



(4) 組合員の意思反映・運営参画の強化

① 「組合員との対話運動」の展開

- 全戸訪問活動を基本とした「組合員との対話運動」を展開します。
- 多様な意思反映の「場」づくりに取り組むとともに、組合員の「声」を運営改善につなげる仕組みを構築します。

② 女性の運営参画

- 女性のJA運営への参加・参画をさらに促進します。

【女性の運営参画県域指標】

実践目標	県域指標
正組合員加入	50%
総代への就任	30%
理事への登用	15%

(5) 准組合員のメンバーシップ強化

① 「組合員」としての自覚促進

- 准組合員の「組合員」としての自覚を促し、JAについての理解促進をはかるため、訪問活動や情報提供を強化します。

② 参加・参画の促進

- くらしの活動などへの参加を促進するとともに、懇談会の開催や支所ふれあい委員会への参画など、准組合員の意思反映・運営参画の仕組みを構築します。

(6) JAの事業や活動を通じた「農業振興の応援団（サポーター）」の拡大

- 地域の農産物を「食べて応援」、「作って応援」、JAの事業を「利用して応援」するサポーターの拡大に取り組みます。
- 農業振興のサポーターの拡大に向け、「直売所の日（10/2）」やJAグループアプリ「旬みっけ！」の活用を促進します。

【農業振興の応援団（サポーター）】

食べて応援	ファーマーズ・マーケットの利用者、「食」のイベント・収穫体験等への参加者など
作って応援	ファーマーズ・マーケットの出荷者、体験農園・農業塾等への参加者など
利用して応援	農業応援貯金等の利用者など

3. 「地域の活性化」への貢献

(1) 生活インフラ機能の発揮

- 組合員、地域住民が必要とするサービスの展開を通じ、生活インフラの一翼を担います。

(2) 地域貢献活動の展開

- 豊かな地域の実現に向け、他団体とも連携し、地域に貢献する取り組みをさらに強化します。

(3) 都市との交流を通じた地域の活性化

- 農業体験、収穫体験など「食」「農」をテーマとした都市との交流活動への取り組み等を通じ、地域経済の発展、地域の活性化に貢献します。